

群馬県

(全域)

施設キュウリにおけるウイルス病媒介虫の防除対策

【1. 概要】

- ・物理的防除資材および天敵農薬を活用したウイルス媒介虫の防除
- ・天敵導入面積は、H22年:0.9haからH27年:35.0ha(導入率8%)に増加
- ・H26に指導者用手引きとして「施設キュウリのIPM技術」を作成配布



図1. 赤色防虫ネットとスワルスキーカブリダニ放飼

【2. 実践内容】

(1) 取り組みの背景、経緯

- ・ウイルス病である黄化えそ病と退緑黄化病の発生が増加
- ・化学農薬だけでは、媒介虫のミナミキイロアザミウマとタバココナジラミの防除が困難
- ・媒介虫の施設内侵入防止対策として、防虫ネット等を設置
- ・媒介虫の施設内増殖防止対策として、天敵農薬のスワルスキーカブリダニを導入(図1)

(2) 普及拡大に向けたポイント、成功要因

- ・実証ほ設置による各対策の防除効果と導入可否を検討
 - ・天敵導入事前説明会、巡回による天敵定着確認と指導
 - ・天敵導入農家への天敵利用チェックリストの配布
 - ・指導者用手引き配布による指導力強化(図2)
- (普及指導員とJAに380部配布)



図2. 指導者用手引き

【3. IPMの推進による効果、得られた経験】

- ・媒介虫を対象とした農薬散布回数の減少
- ・天敵導入面積増加と黄化えそ病、退緑黄化病の発生減少(図3)

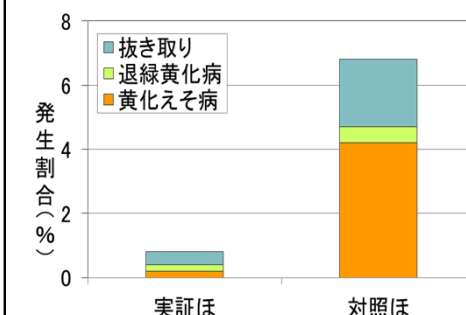


図 IPM実証ほのウイルス病発生状況

図3. IPM実証ほのウイルス病発生状況

【問い合わせ先】

群馬県農政部技術支援課生産環境室植物防疫係
電話：027-226-3038